

感 染 症 週 報 [市内週報 平成21年第33週]

結核・感染症発生動向調査

平成21年8月18日

平成21年第33週感染症発生状況【川崎市内】

平成21年8月10日～平成21年8月16日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第33週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 手足口病となっています。</p> <p>インフルエンザの報告数が1位になりました。お盆の休診のため報告医療機関減少により他の疾病の報告数が減っている中、インフルエンザは前週の約2倍の報告数(定点当りは前週の約2.5倍)となっているので今後の発生動向には注意が必要です。また、引き続き集団感染も発生しています。</p> <p>レジオネラ症の発生が1件(感染原因:不明、感染地域:不明)ありました。</p> <p>麻しんの発生が1件(感染原因:不明、感染地域:不明)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 5件	結核 238件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 2件 腸管出血性大腸菌感染症 10件
	4類感染症	レジオネラ症 1件	A型肝炎 1件、オウム病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 4件
	5類感染症	麻しん 1件	アメーバ赤痢 6件 ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 11件、ジアルジア症 2件 髄膜炎 細菌性髄膜炎 1件、梅毒 4件、 風しん 1件、麻しん 19件
	新型インフルエンザ 等感染症	-	新型インフルエンザ 135件*

※新型インフルエンザの全数把握は7月23日までとなっています。



